

GREEN × EXPO 2027に向けた工事について

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA



令和6年10月4日・5日・6日

本日ご説明する内容

1. GREEN×EXPO 2027の概要
2. GREEN×EXPO 2027等の工事
3. 工事中の安全対策等
4. 新たな桜の名所づくりについて

1. GREEN×EXPO 2027の概要

GREEN × EXPO 2027

GREEN
×
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

環境と共生し、市民の皆様と共につくる、「環共」をテーマとする
日本で初めての国際博覧会

開催概要



名称

「GREEN×EXPO 2027」
(2027年国際園芸博覧会)

開催地

瀬谷区・旭区(旧上瀬谷通信施設)

開催期間

2027年3月19日から9月26日まで

参加者数

有料来場者数:1,000万人以上

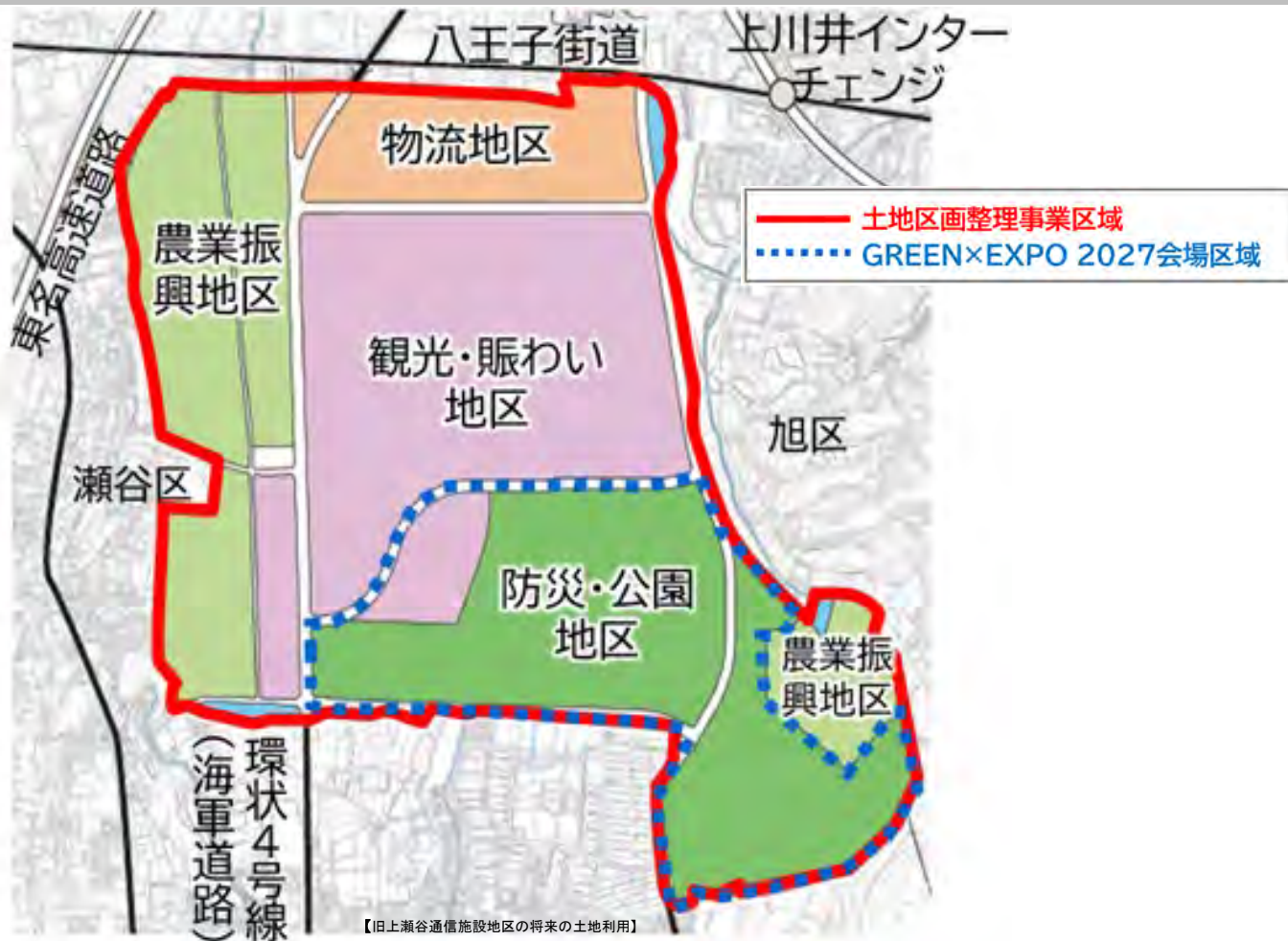
テーマ

幸せを創る明日の風景



環 共 環境と共生し、
皆 様 と共につくる







5つのVillage

GREEN×EXPO 2027独自の取り組みとなるテーマ共創事業としてGXを実現する5つの「Village」を設けます。主催者と参加者がテーマを共有しながら、「幸せを創る明日の風景」の創出に取り組みます。

Urban GX Village

Farm & Food Village

Craft Village

Kids Village

SATOYAMA Village

3つのゾーン

GREEN×EXPO 2027の骨格となる3つのゾーンを設けます。

国際出展ゾーン

世界各国や国際的な花き園芸・造園企業による出展。世界の園芸文化、食農文化の多様性に出会う国際色豊かなゾーンです。

シンボルゾーン

GREEN×EXPO2027のテーマを発信するテーマ館のほか、花き品種、ガーデンデザインなどの多彩なコンペティションが展開される屋内出展施設を設けます。

日本ゾーン

日本政府による庭園及び屋内出展のほか、主催者による園芸文化展示、自治体等による出展が集結。日本の園芸文化の奥行きに触れることができます。



SATOYAMA Village

Villageは、様々な展示・体験プログラム等を複合させた共創事業です。



GX Village

脱炭素社会を目指して新たな技術を導入した未来の都市像を体感できます。



Craft Village

自然と共に生きる知恵と技が込められた、日本の伝統産業などの温故知新を体感できます。



Farm & Food Village

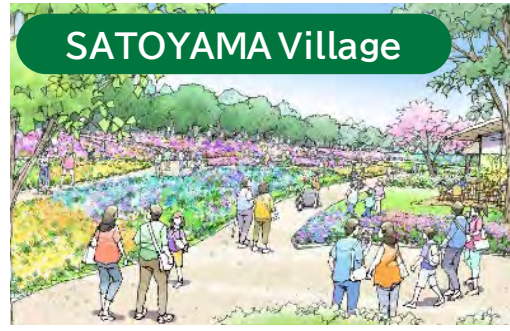
健康を支える食と農が共存した生活と、その豊かさを実感できます。



Kids Village

これからの地球を生きる子供たちが、遊びを通じて自然の大切さを学びます。

Village



SATOYAMA Village

日本の原風景・里山を体感し、生物多様性の価値を再認識できます。











花緑の管理



体験ボランティア活動



エコガイド活動



- GREEN×EXPO 2027 の機運醸成・市民参加の取組として、個人、団体、教育機関等で活動されている皆様にも広くご使用いただける「メッセージ付き公式ロゴマーク」を作成。
- 2024年7月1日から受付開始。



「自然と社会と人」が織りなす幸せな風景を表現したメッセージ付き公式ロゴマーク

誰もが叶えたいと願う
「幸せを創る明日の風景」を
皆さんと一緒に。



2. GREEN×EXPO 2027に向けた工事について

2.1 GREEN×EXPO 2027会場整備の進め方

2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた工事の進捗

(1)土地区画整理事業及び周辺道路等の整備

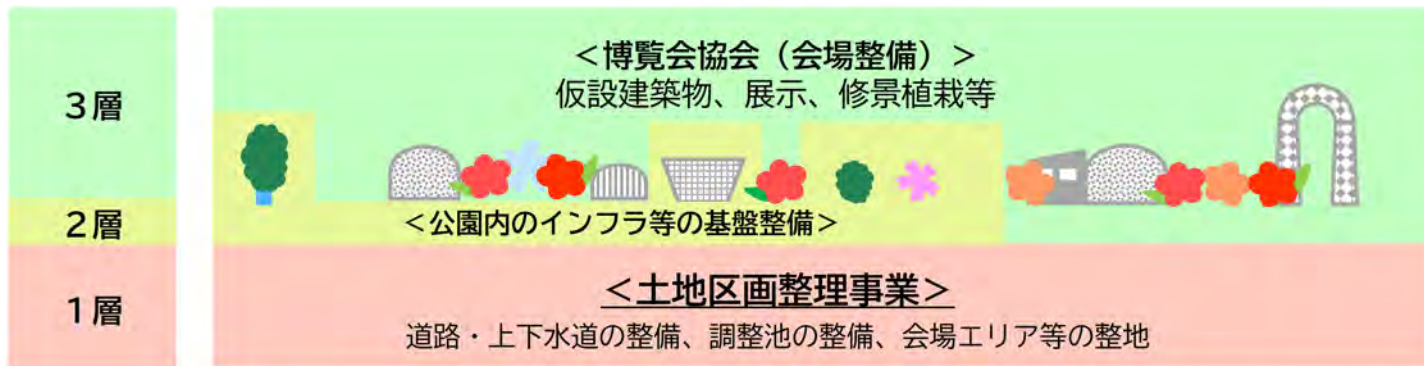
(2)公園整備

(3)公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会による会場整備

2.1 GREEN×EXPO 2027会場整備の進め方

2.1 GREEN×EXPO 2027会場整備の進め方

【GREEN×EXPO 2027の会場整備の進め方イメージ】



2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた工事の進捗

2. 2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(1) 土地区画整理事業（1層目）および周辺道路等の整備

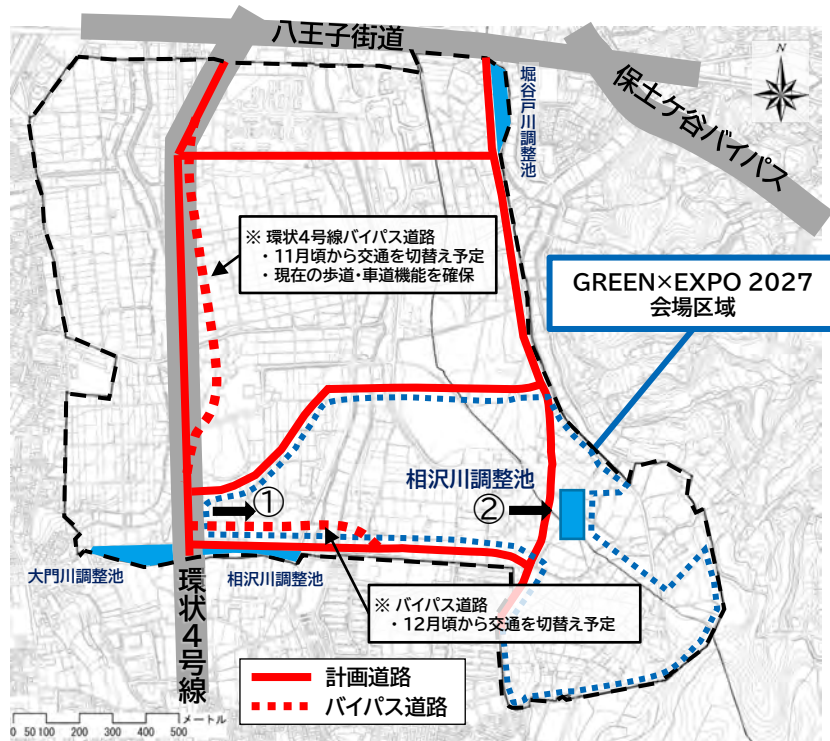
ア 土地区画整理事業の工事

- ・GREEN×EXPO 2027会場整備に向けて、道路・上下水道の整備を進めるとともに、整地工事を行っています。
- ・また、河川への雨水流出量を制限する治水対策を目的とした調整池の工事に着手しました。地下に整備する相沢川調整池では、地盤改良工事を進めています。

【①道路・上下水道の整備】



【②相沢川調整池の地盤改良工事】



2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(1)土地区画整理事業(1層目)および周辺道路等の整備

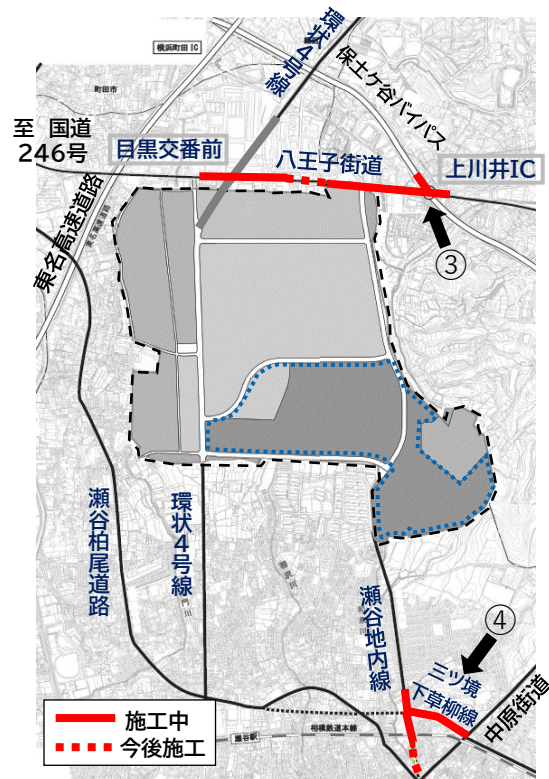
イ 周辺道路の整備

- ・ 八王子街道では、用地取得が完了した区間から順次工事に着手しています。10月から新たな工区で拡幅工事に着手します。
- ・ 保土ヶ谷バイパス上川井IC出口（横浜方面）を1車線から2車線に拡幅する工事が8月に完了しました。
- ・ 瀬谷地内線は、相模鉄道アンダーパス部の本格着手に向けて、準備工事を進めています。
- ・ 三ツ境下草柳線は、都市整備局において土地区画整理事業による工事を進めており、令和7年度には舗装工事が完了する予定です。

【③上川井IC出口 拡幅工事完成】



【④三ツ境下草柳線 整備状況】



【上瀬谷周辺の道路整備箇所】

2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗



② 八王子街道の拡幅工事 (10月着手予定)

施工会社：親和興業、岡田建設 ほか
工事内容：道路拡幅工事、擁壁工事等

① 保土ヶ谷バイパス上川井IC (横浜方面)の拡幅工事 (8月完成)

施工会社：金子工業
工事内容：道路拡幅工事



道路拡幅工事イメージ



擁壁工事イメージ



令和6年8月完成

2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(1) 土地区画整理事業(1層目)および周辺道路等の整備

イ 周辺道路の整備

- ・環状4号線目黒交番前交差点の立体化に伴う橋りょう工事に10月から着手します。

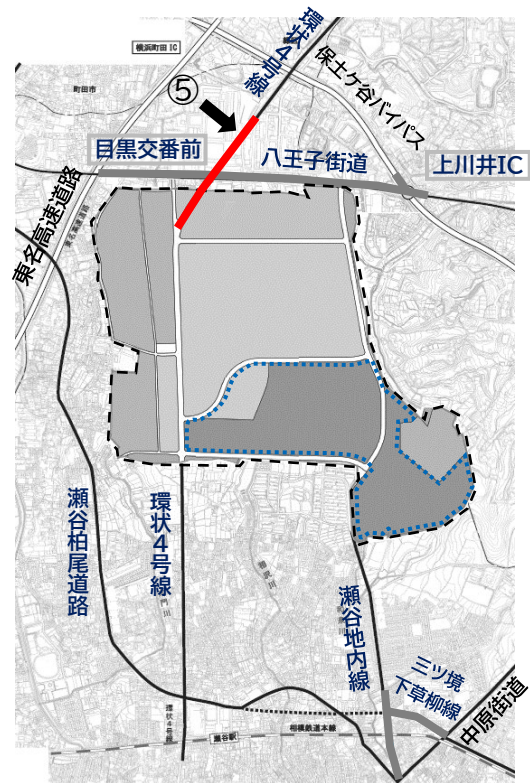
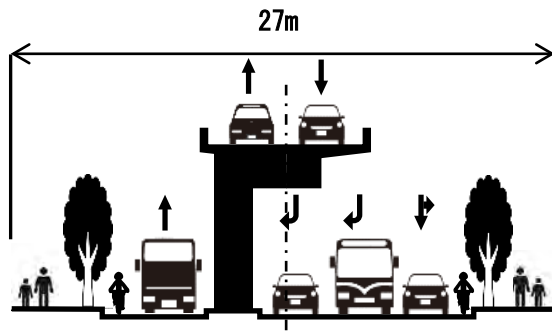
工事期間中は、安全に留意するとともに、特に交通量が多く渋滞の原因となっている十日市場方面からの右折レーンを常に確保します。

また、橋りょう架設工事など大規模な交通規制を行う場合は、交通量の少ない夜間に作業を行います。

【⑤環状4号線立体化の完成イメージ】



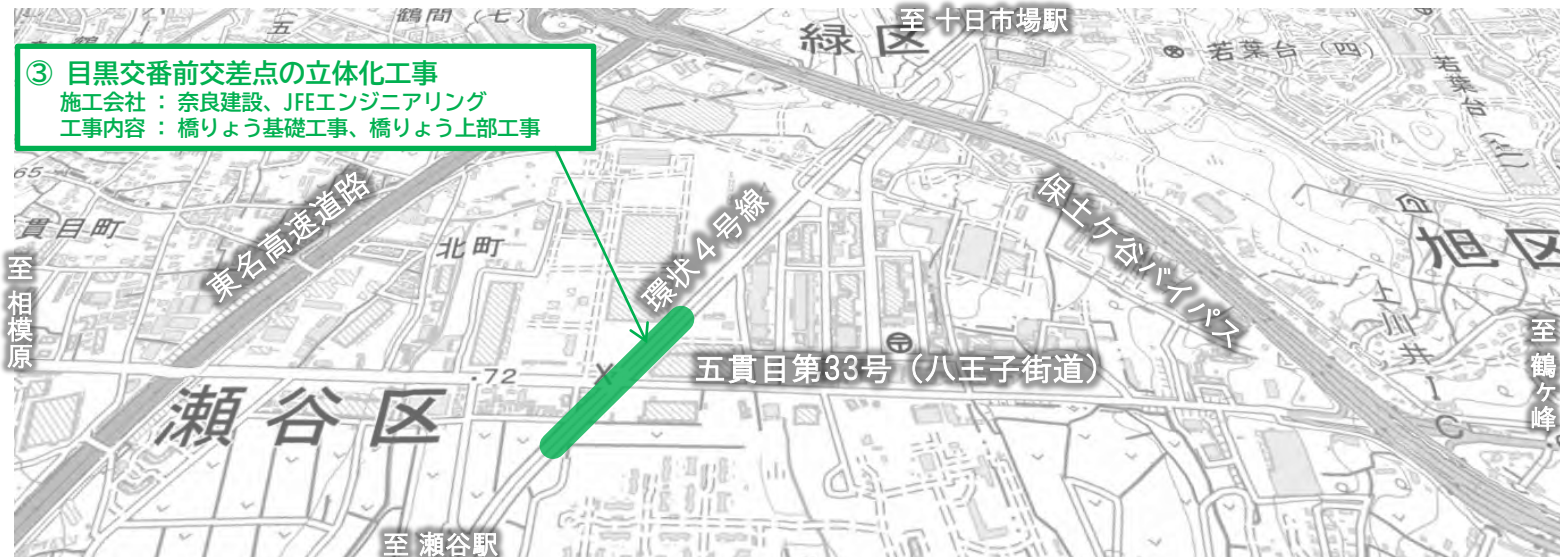
【⑤標準断面図】



【上瀬谷周辺の道路整備箇所】

2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

③ 目黒交番前交差点の立体化工事
施工会社：奈良建設、JFEエンジニアリング
工事内容：橋りょう基礎工事、橋りょう上部工事



2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗 (2)公園整備(2層目)

GREEN×EXPO 2027の会場区域では、樹木の植栽や、相沢川・和泉川における生物の生息環境の整備を進めています。

ア 樹木の植栽

- ・ 既存樹木の移植や、新たな樹木の植栽工事を進めています。

【既存樹木の移植】



【新たな樹木の植栽】



2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(2)公園整備(2層目)

イ 相沢川の整備

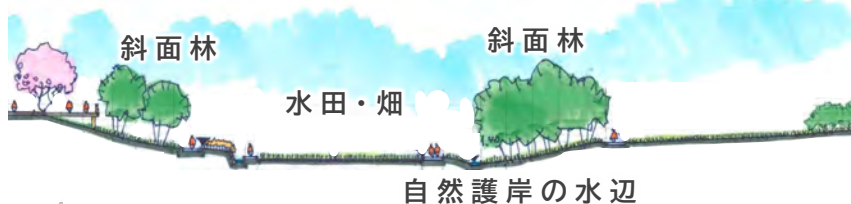
- ・自然護岸の水辺や湿地、草地や樹林地など、多様な生物の生息環境を整備し、谷戸の原風景の再生に向け整備を進めます。

○相沢川の谷戸地形

【⑥平面イメージ】



【⑥断面イメージ】



2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

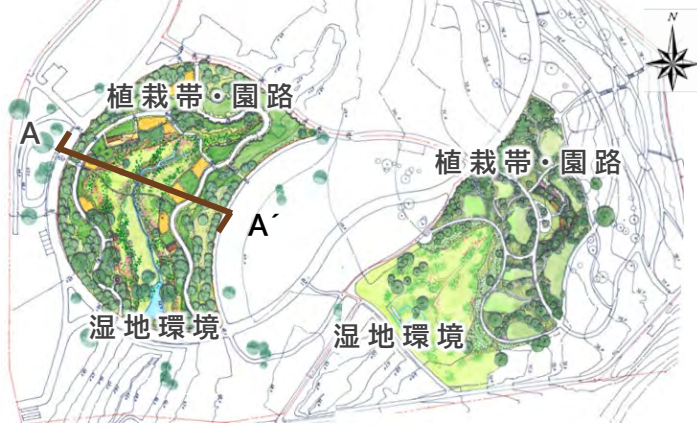
(2)公園整備(2層目)

ウ 和泉川の整備

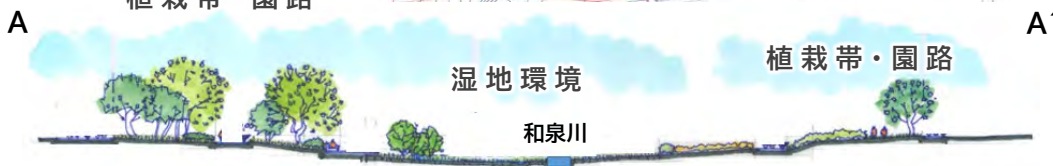
- ・生物の生息環境が豊かな和泉川の源流部や湿地環境の現況を生かし、周囲に植栽帯を整備して里山景観を創出します。

○和泉川の源流部

【⑦ 平面イメージ】 【⑧ 平面イメージ】

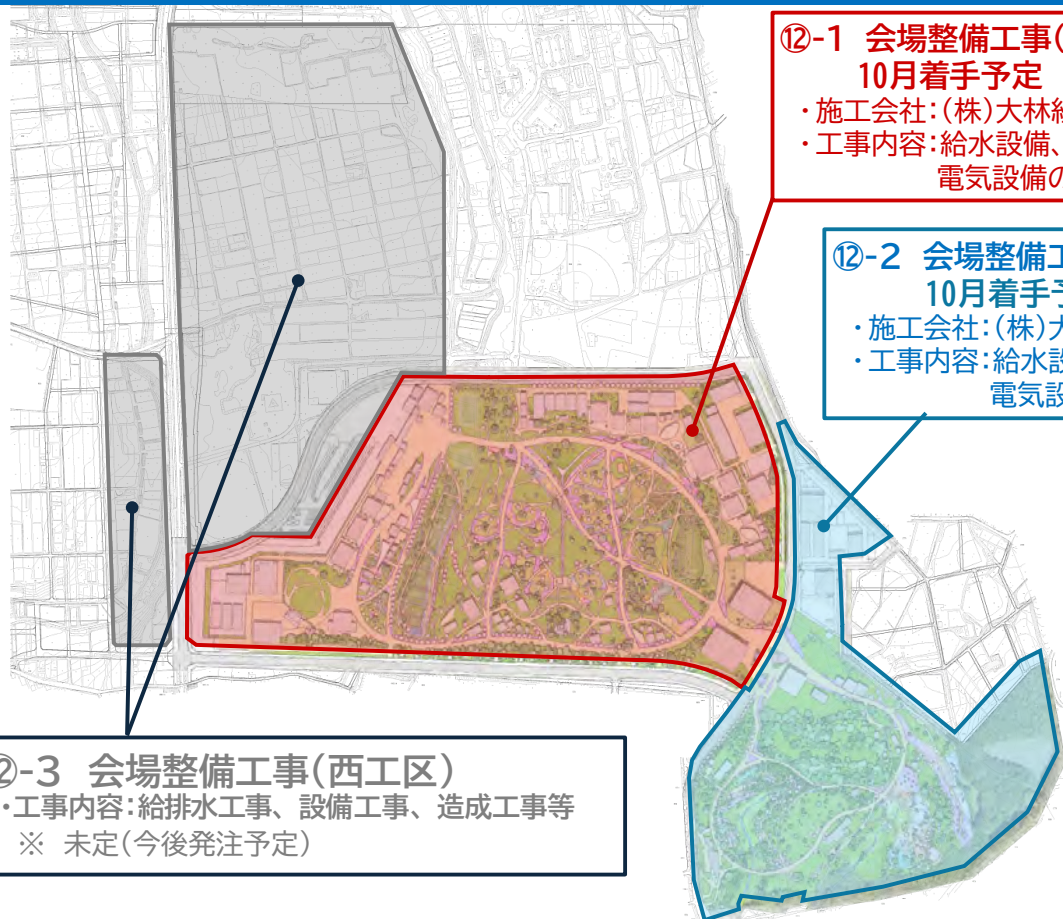


【断面イメージ】



2.2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(3)2027年国際園芸博覧会協会による会場整備(3層目)



⑫-1 会場整備工事(中央工区) 10月着手予定

- ・施工会社:(株)大林組
- ・工事内容:給水設備、排水設備、
電気設備の整備 など

⑫-2 会場整備工事(東工区) 10月着手予定

- ・施工会社:(株)大林組
- ・工事内容:給水設備、排水設備、
電気設備の整備 など

⑫-3 会場整備工事(西工区)

- ・工事内容:給排水工事、設備工事、造成工事等
- ※ 未定(今後発注予定)

3 工事中の安全対策等

3 工事期間中の安全対策等






・工事車両の主なルート

登校児童に配慮し、午前8時～9時の間は、学校近隣のルートは**通行しませんが**。
下校時については、下校する児童の状況に応じ、誘導員を配置し、安全に配慮して慎重に通行します。

上川井IC方面から八王子街道を通る工事車両は、エリア北東側より入場し、目黒交番前交差点への交通増加を抑制。

環状4号線を通る工事車両は、エリア北側より入場し、環状4号線南側への交通増加を抑制。

工事車両は、工事エリアから南側に**通行しません**。

-  : 工事車両のメインルート
-  : 工事車両のサブルート
-  : 8時～9時工事車両を通行不可とする学校近隣のルート
-  : 工事エリア内のルート
-  : 工事車両の主な出入口 (予定)



- ※工事車両出入口の詳細な位置については、警察と協議し、決定していきます。
- ※工事車両出入口には、誘導員を配置します。
- ※出入口、ルートの使用時期は、工事進捗により異なります。

3 工事期間中の安全対策等

・工事車両通行の安全・混雑対策

- ① 工事用車両は原則、保土ヶ谷バイパスまたは国道246号方面からのアクセスとし、交通負荷軽減のため、環状4号線は、工事エリアより南側には通行しません。
- ② 工事車両は、交通量の多い、朝夕の時間を極力避けるとともに、工事エリア内に速やかに進入することで、現道の混雑抑制に努めます。また、工事全体の車両台数を一元管理し、工事車両通行台数の平準化を行います。
- ③ 工事出入口付近は、誘導員を配置し、工事車両通行の際は、歩行者や一般車両の通行を優先します。
- ④ 登校児童に配慮し、学校近隣のルートについては、午前8時から9時の間は、工事車両は通行しません。また、下校時については、下校する児童の状況に応じ、誘導員を配置し、安全に配慮して慎重に通行します。

・工事の環境対策

- ① 建設機械は排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の建設機械を使用します。
- ② 建設機械や工事車両は、エネルギー効率の高い低燃費の機種を使用します。
- ③ 建設機械のアイドリングストップや過負荷運転の防止を徹底します。
- ④ 土工事により土が露出する部分は速やかに転圧し、適時散水を行います。また、廃材の集積やコンクリートの小割作業など、粉じん等の発生を伴う作業は、工事エリア内の住宅より離れた場所で行うこととします。
- ⑤ 工事用車両は、適時タイヤ洗淨等を行い、工事出入口付近においては、適時散水、清掃を行います。

八王子街道（2工区）拡幅工事の**施工**に関するお問合せ先

親和興業 現場代理人：成田

電話：045-301-5711

八王子街道（4工区）擁壁工事の**施工**に関するお問合せ先

岡田建設 現場代理人：倉持

電話：045-822-4243

目黒交番前交差点 橋りょう基礎工事の**施工**に関するお問合せ先

奈良建設 現場代理人：山本

電話：045-475-6050

目黒交番前交差点 橋りょう上部工事の**施工**に関するお問合せ先

JFEエンジニアリング 橋梁事業部：津野地

電話：03-3539-7224

博覧会整備工事（中央・東工区）の**施工**に関するお問合せ先

大林組 現場代理人：吉田

電話：045-330-3428

4 新たな桜の名所づくりについて

4 新たな桜の名所づくりについて

現状と今後の予測

4 新たな桜の名所づくりについて

海軍道路の桜並木の経緯

- 海軍道路(約2,850m)には、昭和50年代に桜が植樹され、40年以上が経過

昭和51年頃
(1976年頃)

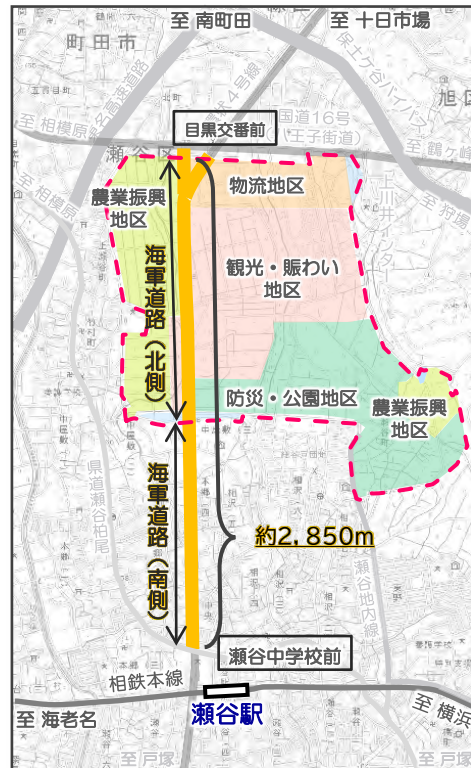
海軍道路の南側に桜(ソメイヨシノ)を植樹
(植樹から48年が経過)

昭和57年頃
(1982年頃)

海軍道路の北側に桜(ソメイヨシノ)を植樹
(植樹から42年が経過)

平成13年以降
(2001年以降)

樹木診断を本格的に開始
平成24年以降は毎年実施



4 新たな桜の名所づくりについて

樹木診断による判定方法

- 歩行者の命を守り、車等への被害を防ぐため、日常点検に加え、街路樹診断等マニュアルに基づき樹木診断を実施

樹木診断の方法

- (一財)日本緑化センター認定の樹木医が基準に基づき診断
- 目視と診断器具により、樹木の外観を調査し、カルテを作成
- カルテの内容に応じて機器診断を実施

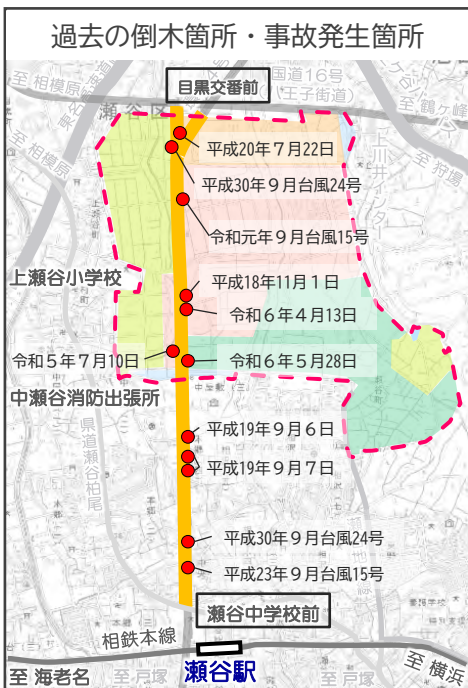


| 判定 | 各判定の例 | 基準 |
|--------------------|-------|-------------------------|
| A 健全か健全に近い | | 異常なし |
| B1 注意すべき被害が見られる | | 幹や根の腐朽の進行が予測される |
| B2 著しい被害が見られる | | 腐朽が進行 |
| C 不健全 | | 腐朽が著しく、倒木の危険があり回復の見込みなし |

4 新たな桜の名所づくりについて

海軍道路の桜並木の現況

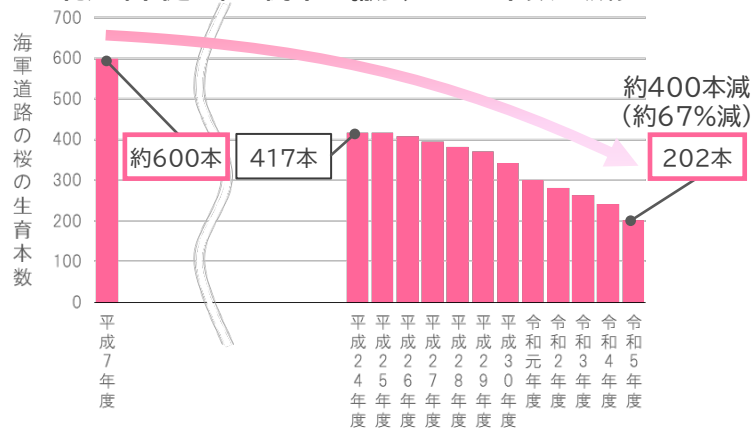
- 海軍道路の桜は、年々健全木が減少し、落ち枝や倒木が発生するなど不健全な状態が見受けられ、平成24年度から樹木診断を毎年実施
- 倒木やC判定(不健全)の樹木の撤去により、本数が減少



| 年月日 | 概要 |
|------------|--------------------|
| 平成18年11月1日 | 枝が落下して、自動車に接触、破損 |
| 平成19年9月6日 | 強風により倒木し、自動車に接触、破損 |
| 平成19年9月7日 | 強風により倒木し、自動車に接触、破損 |
| 平成19年9月7日 | 強風により倒木し、自動車に接触、破損 |
| 平成20年7月22日 | 枝が落下し、自動車に接触、破損 |
| 平成23年9月21日 | 台風15号による倒木 |
| 平成30年9月30日 | 台風24号により枝が落下 (B1) |
| 平成30年9月30日 | 台風24号による倒木 (B1) |
| 令和元年9月13日 | 台風15号による倒木 (B2) |
| 令和5年7月10日 | 強風により枝が落下 (B1) |
| 令和6年4月13日 | 強風により枝が落下 (B1) |
| 令和6年5月28日 | 強風により枝が落下 (B2) |



倒木やC判定(不健全)の樹木の撤去による本数の減少

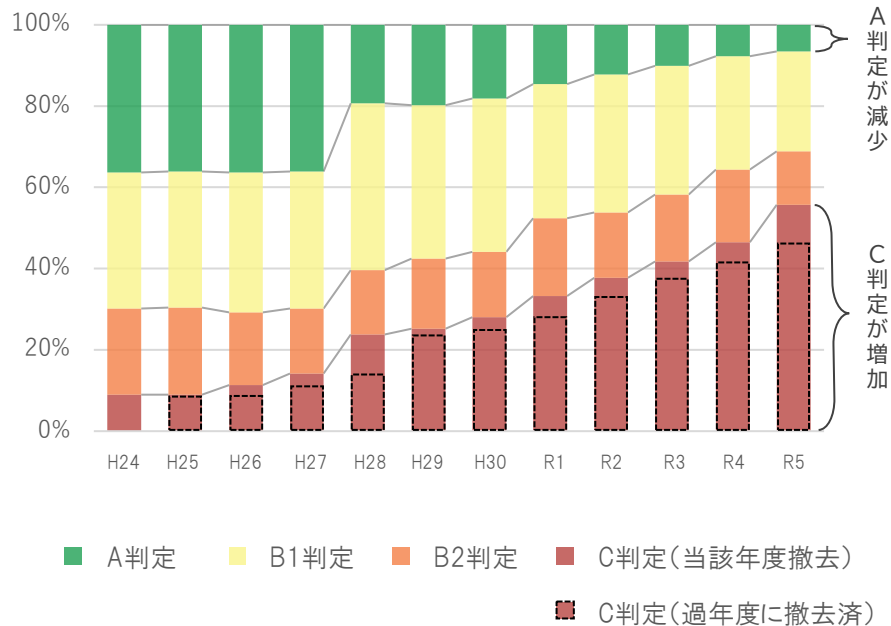


4 新たな桜の名所づくりについて

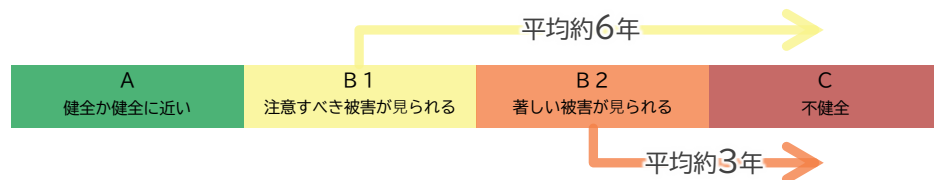
樹木診断の健全度判定の推移

- 年々、A判定の樹木が減少し、C判定(不健全)が増加 倒木の危険性が高いC判定の樹木を順次撤去
- C判定(不健全)に至る期間は、B1判定後は平均約6年、B2判定後は平均約3年

樹木診断を開始した平成24年度以降の健全度判定の割合



C判定(不健全)への平均移行年数の分析



※A判定が急速に減少し始めた平成28年度以降の樹木診断結果を基に算出

健全度判定と撤去の推移(令和3～令和5年度)

| 総合判定 \ 年度 | R3 | R4 | R5 |
|----------------|------|------|------|
| A判定 | 46本 | 34本 | 28本 |
| B1判定 | 145本 | 130本 | 114本 |
| B2判定 | 74本 | 78本 | 60本 |
| 計 | 265本 | 242本 | 202本 |
| C判定(当該年度の撤去本数) | 17本 | 23本 | 40本 |

4 新たな桜の名所づくりについて

海軍道路の桜の予測

- 倒木やC判定(不健全)の樹木を撤去した結果、平成7年度に約600本あった桜が、令和5年度に202本まで減少(約67%減)
- 病害虫などに弱いソメイヨシノが年々減少しており、今後5年程度で桜並木の消滅が予測される

海軍道路の桜の状況



バッコウタケ

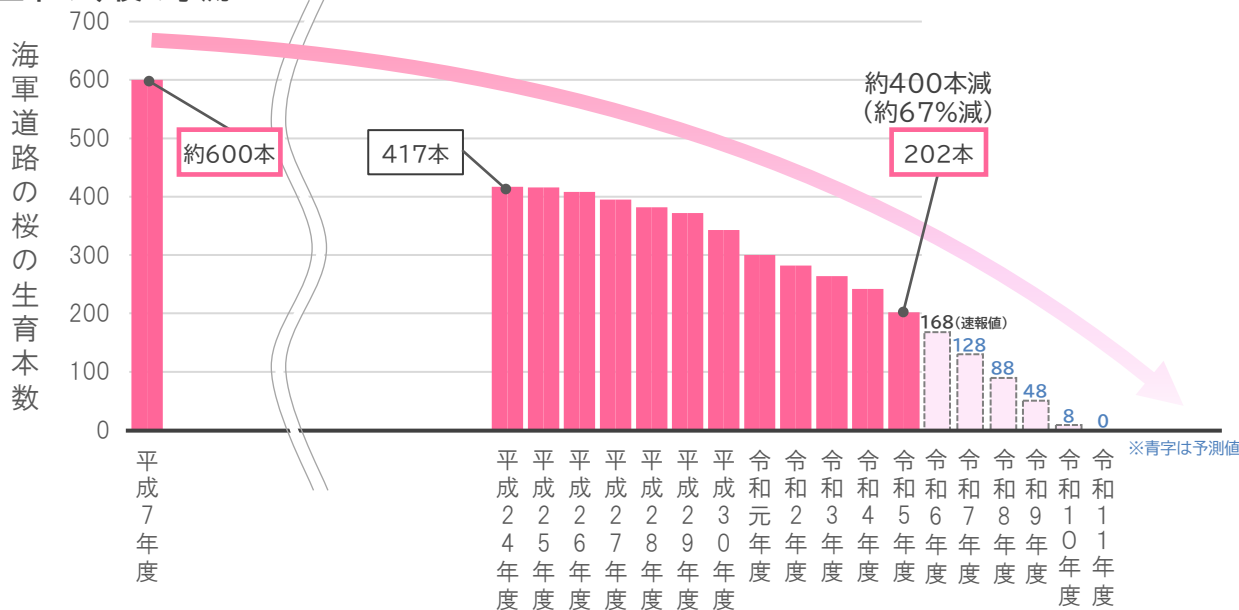


植栽間隔が狭い



剪定による腐朽

桜並木の今後の予測



植樹からの
平均年数

16年

33年

40年

44年

※南側を植樹した昭和51年頃、北側を植樹した昭和57年頃の中間の昭和54年を起点に算出

4 新たな桜の名所づくりについて



新たな桜の再生に向けてのスタート



4 新たな桜の名所づくりについて

- 長年地域の象徴であった桜並木を次世代につなげるため、桜並木の再生に向けてスタート

現状・予測

- 植樹後40年以上が経過し、健全木が減少
- 台風で落ち枝や倒木が発生するなど、危険度が増加
- 今後加速度的に減少し、5年程度で消滅が予測される



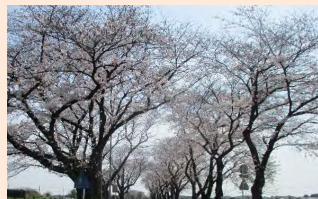
市民生活や人命を守る

- 近年の異常気象による集中豪雨や台風などにより倒木の危険性が高まっている



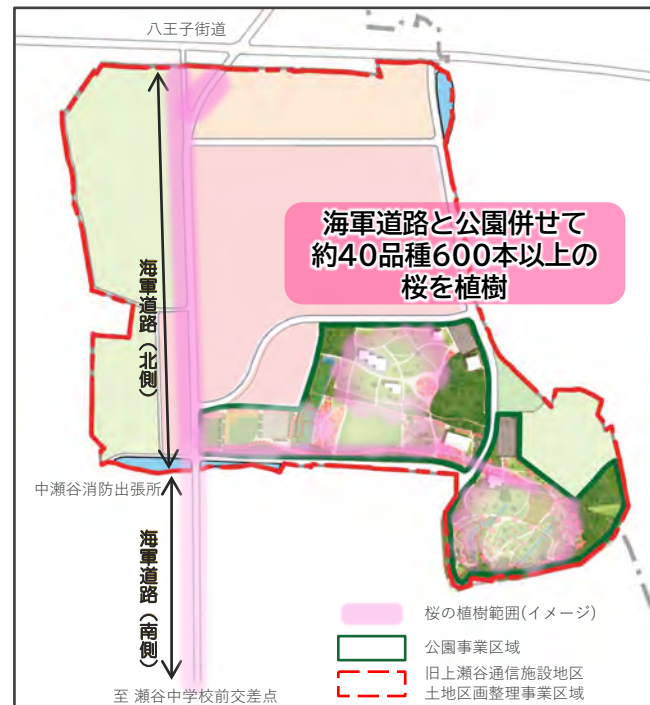
地域の象徴である桜の継承

- 長年地域の象徴であった桜並木を次世代につなげる



桜並木の再生に向けてスタート

新たな桜の再生イメージ図



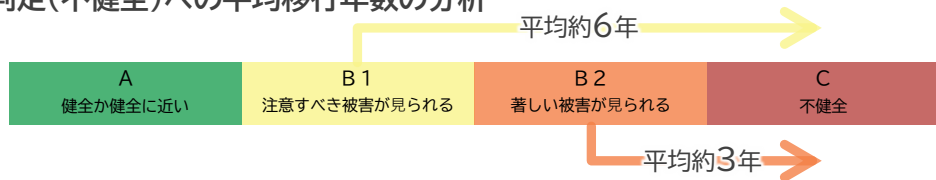
4 新たな桜の名所づくりについて

新たな桜の再生に向けた取組 (1)

複数の専門家による客観的な樹木診断の中で、倒木の危険性の有無についても診断し、移植や植替えを進めていく

- A判定の約11本～15本は、診断結果を踏まえ、できるだけ新たな公園へ移植
- 腐朽の進行が予測されるB1判定の約50本～73本の樹木は、診断結果を踏まえ、倒木の危険性がないものを公園へ移植
- 腐朽が進行しているB2判定の樹木は、診断結果により移植に耐えられる樹木を除いて、倒木の危険性があるため順次植替え

C判定(不健全)への平均移行年数の分析



※A判定が急速に減少し始めた平成28年度以降の樹木診断結果を基に算出

健全度判定と撤去の推移・予測

| 年度 | R3 | R4 | R5 | R6 (速報値) | R7 (予測値) | R8 (予測値) |
|--------------------|------|------|------|----------|----------|----------|
| 総合判定 | | | | | | |
| A判定 | 46本 | 34本 | 28本 | 19本 | 約15本 | 約11本 |
| B1判定 | 145本 | 130本 | 114本 | 89本 | 約73本 | 約50本 |
| B2判定 | 74本 | 78本 | 60本 | 60本 | 約40本 | 約27本 |
| 計 | 265本 | 242本 | 202本 | 168本 | 約128本 | 約88本 |
| C判定 (当該年度の撤去本数) | 17本 | 23本 | 40本 | 34本 | 約40本 | 約40本 |

倒木の危険性



4 新たな桜の名所づくりについて

新たな桜の再生に向けた取組 (2)

- 開花時期や花の色がソメイヨシノに近く、病害虫などに強く安全度が高い「コシノヒガン」で海軍道路の桜並木を再生
- 海軍道路の桜を、順次植替えて再生するとともに、新たな公園に多くの桜を植樹

新たな桜の再生イメージ図



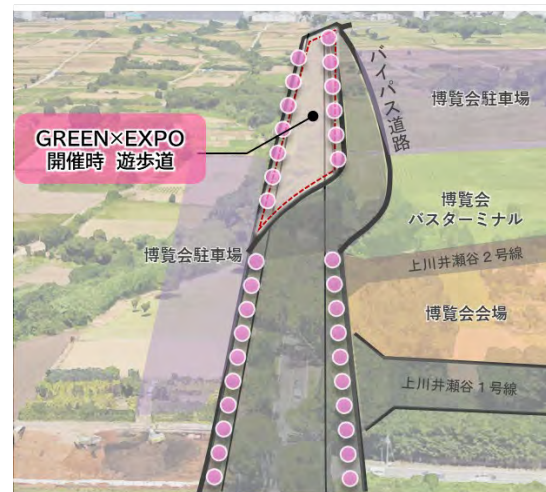
海軍道路の桜の植替え



新たな公園に桜を植樹



GREEN×EXPO開催時の
海軍道路の桜並木のイメージ



4 新たな桜の名所づくりについて

将来像

海軍道路の桜並木の歴史を継承し想いを未来へつなぐ
平和の象徴として親しみ愛される新たな桜の名所づくり

- 1 平和を祈念して植樹された桜並木を移植し次世代につなげる
- 2 海軍道路の桜並木から新たな公園まで咲き広がる名所をつくる
- 3 地域の象徴である桜を新たな形で再生する

以上で、ご説明は終わりです。

工事中、お住まいの皆さまにはご不便をおかけいたしますが、安全第一で作業いたしますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

(土地区画整理事業・周辺道路整備事業について)

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 上瀬谷整備事務所

電話 045-900-0702

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

(GREEN×EXPO 2027について)

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

電話 045-307-2099

